

学年							小笠原村立小笠原中学校 技術科1年 年間指導計画				
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	1	2	3			
4	月	単元名	情報モラル(2)			系単元性の	小学校におけるコンピュータの基本的な操作や発達段階に応じた情報モラルの学習状況を踏まえ指導を行っていく。				
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
<ul style="list-style-type: none"> ・[D 情報の技術] ・[(1) 生活や社会を支える情報の技術について調べる] ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や肖像権についての知識や、情報モラルを理解し、情報を受信、発信できるようにする。 				
						工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・普段使用しているSNSを題材に具体的な事例を考えながら、正しい知識を学習できるようにする。 				
評価規準											
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて、正しい知識・理解をしている。 			思考・表現判断		<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて、自分で考え、適切に利用することができる。 		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルについて興味関心をもち、授業に参加している。
プリント・定期考査			プリント・発言			授業態度・プリント					
5	月	単元名	栽培について(2)			系単元性の	第1・2学年の生活科「動植物の飼育・栽培」や第3～6学年理科の動物や植物に関する多くの単元と繋がりのある領域であり、技術に関わる倫理観の育成も目指し指導していくことが求められる単元である。				
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
<ul style="list-style-type: none"> ・[B 生物育成の技術] ・[(1) 生活や社会を支える生物育成の技術について調べる] ・[(2) 生活や社会における問題を、生物育成の技術によって解決する] ・[(3) これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える] ・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 ・安全・適切な栽培ができる(スプラウトの栽培)。 ・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・理科などの植物についての知識ではなく、効率よく作物を栽培するというを考える。 				
						工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ポットでの栽培、水耕栽培など栽培方法を変えて、同じ作物で栽培することで、質や収穫量を比較しながら栽培する。 				
評価規準											
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> ・栽培の技術について、正しい知識・理解をしている。 ・栽培の技術を実践している。 			思考・表現判断		<ul style="list-style-type: none"> ・栽培の技術について、自分で考え、適切に利用することができる。 		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培の技術について興味関心をもち、授業に参加している。
プリント・定期考査・実習作業			発言・プリント・実習作業			授業態度・プリント・実習作業					

学年							小笠原村立小笠原中学校 技術科1年 年間指導計画							
小学校						中学校								
1	2	3	4	5	6	1	2	3						
月	単元名	木材の特徴とのこぎりの使い方(9)				系統単元の	第5・6学年算数「図形」や図工「材料や用具」などを踏まえながら表題の単元について考えていけるようにしていく。							
6 ・ 7 ・ 8	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	<ul style="list-style-type: none"> ・[A 材料と加工の技術] ・[(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動] ・[(2) 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動] ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。 ・のこぎりの使い方を理解する。 ・のこぎりの練習を行う。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・木の性質だけでなく、加工した木材の性質を理解する。 ・安全な工具の使い方を理解し、実践する。 ・高い精度の木材加工を行う。 						
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や実験を通して木材の性質を説明する。 ・動画作成や、実演を通して、工具の安全な使い方を説明する。 ・反復練習をする時間を設定し、のこぎりの練習を行う。 						
評価規準														
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具について、正しい知識・理解をしている。 ・のこぎりの作業を正確に行えている。 				思考・表現・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について、自分で考え、適切に利用することができる。 			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について興味関心をもち、授業に参加している。 			
		プリント・定期考査・実習作業					プリント・定期考査・実習作業				授業態度・プリント・実習作業			
月	単元名	鉛筆立て製作(21)				系統単元の	第5・6学年算数「図形」や図工「材料や用具」などを踏まえながら表題の単元について考えていけるようにしていく。							
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	<ul style="list-style-type: none"> ・[A 材料と加工の技術] ・[(2) 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動] ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。 ・のこぎりやげんのう、クランプなど工具を使用し、木材を加工する。 ・三角図や等角図について理解し、製図をすることができる。 						つまずきやすいポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な工具の使い方を理解し、実践する。 ・高い精度の木材加工を行う。 ・製図の規則について理解し、実際に製図を行う。 						
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成や、実演を通して、工具の安全な使い方を説明する。 ・製図について反復練習をする時間を設定し、練習を行う。 						
評価規準														
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具について、正しい知識・理解をしている。 ・設計図通りに作業を正確に行えている。 				思考・表現・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について、自分で考え、適切に利用することができる。 ・製図について理解し、作図できる。 			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や工具の技術について興味関心をもち、授業に参加している。 ・製図に興味関心をもち、授業に参加している。 			
		プリント・定期考査・実習作業					プリント・定期考査・実習作業				授業態度・プリント・実習作業			